

がん化学療法科 ニュースレター

ほほえみ 第70号



8月30日には、東北に台風10号が上陸するという、かつてない事が起こりました。皆様、被害はなかったでしょうか。地球温暖化によって台風も強力化し、進路も今まで見られないものになっていきそうで、今後の気候が、恐ろしい気がします。盛岡は風雨はさほどではなかったのですが、これからは異常気象と言われたものが、異常ではない時代になりそうで、防災を心掛ける必要があります。ほほえみも70号となりましたが、その都度、何を書こうかと頭を悩ませてきたのが、もう70回にもなるのかという感じですね。今後とも、宜しくお願い申し上げます。

がん教育

がん対策基本法が制定されてから10年が経過し、その間にドラッグ・ラグの問題や、がん診療拠点病院の整備、最近では、がん患者さんの就労支援といった様々な対策がなされて来ました。この間に、本邦では少ないことが問題となっている、腫瘍内科医を育成するということで、大学医学部に腫瘍内科の講座も増えました。人材の育成には時間がかかるので、腫瘍内科医が増えた実感はありませんが、今後、増えていくことを願っています。

最近、トピックとなりつつあるのは、『がん教育』という問題です。腫瘍内科医を育てるという意味ではなく、一般の方に、癌に対する知識を深めてもらうということです。学校教育として、がん教育を行うということです。身内に心筋梗塞の人はいなくても、がんの人がいない人はないと思われませんが、これまで、本邦では、がんに対しての知識を教育という形では行われてきませんでした。

今後、行われるであろうがん教育は、どのようなものになるでしょうか。恐らく、がんを予防するということや、検診の重要性などは、内容に取り込まれると思います。このような教材を作ることは多分、簡単です。一方、がんに罹患することがどのような事かということ、真摯に教えることができる人材は少ないだろうと思われま

す。がんは恐ろしい病気で、可能な限り予防しようという風に、予防に重点を置いた場合、反対に、がんに罹患することが、殊更に運が悪く、不幸であるというように感じられてしまうことでしょう。実際には、がんの罹患率と死亡率の間には大きな開きがあり、治りうる病気となってきていますし、がんの治療を受ける、そして、あまり好きなカタカナ言葉ではありませんが、サバイバーとして生活していくということの意義さえも伝える部分がないと、がんに対して偏った見方を増長する結果になりかねないと思います。

かつて、ハンセン病に対して、間違っただけの見方が強調され、結果的に多数の人を強制的に隔離する、社会から切り離すということが、かつて行われました。社会の中に、疾患のイメージを植え付けることは、時として重大な結果を引き起こします。

政治的に、予防しよう、検診率を上げようという気持ちになることは理解できますが、それが何を引き起こすかまで熟慮した上で、教育プログラムを作ることが求められるだろうと思います。

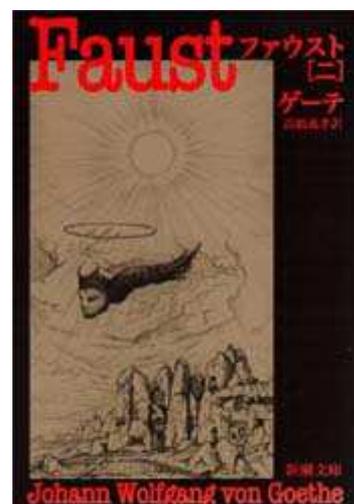


ファウスト・第二部

流石にファウスト・第一部は、若かりし時に読んだことはあったのですが、第二部となると読んでいませんでした。レコードのB面のようなもので、ヒット曲ではないのですが、音楽通はB面の二曲目あたりが好きだというように、第二部なりの味わい深さがあります。

ゲーテ自身、一生をかけて書いた作品なので、当然、第二部は晩年の作品ですが、第一部が人間の理性が突っ走った時の危うさのような、その反映としての艶・きらめきがあるとすれば、第二部は鈍色のくすんだ印象ですね。以前に読まなかったのが、何となく自分でもわかる気がします。第一部も読み返しましたが、今は第二部の方が考えさせられることが多いです。

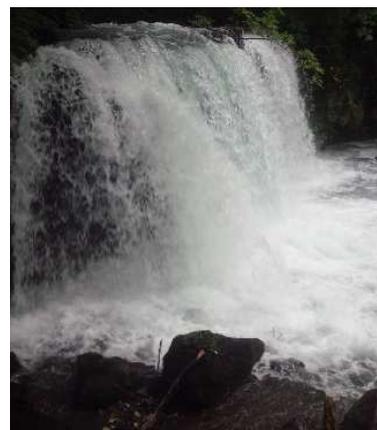
ゲーテ自身、疾風怒濤の人だったので、そのような人物だからこそ、晩年に練りこまれた思想が反映しているようです。ファウストとメフィストフェレスは、ゲーテが二役を演じているようなものです。巨匠の晩年の自問自答と言えます。読書の秋にお勧めします。



奥入瀬溪流

先日、十和田・奥入瀬に行ってきました。曇りのち晴れの天候でしたが、雨の翌日でしたので、奥入瀬溪流の水量は多く、水自体は下流ではむしろ濁り気味でした。これまで、3回程度、奥入瀬には行ったことがありますが、今回の見どころは滝でした。滝の水量が凄くて、轟々と流れ落ちるさまが見事でした。

北海道新幹線が開通した影響なのか、今までと比較しても観光客の姿はまばらでした。自然の景観の素晴らしさは特筆できると思いますが・・・。高速道路を使えば、遠くはないですし、また、別の季節に出かけてみたいと思います。



銚子大滝

MEMO

9月のがん化学療法科の予定

9月2日	診療応援(福田先生)
9月7日	診療応援(大堀先生)
9月9日	診療応援(柴田教授)
9月16日	診療応援(福田先生) 新渡戸稲造記念メディカル・カフェ
9月19日	敬老の日
9月21日	診療応援(大堀先生)
9月22日	秋分の日
9月23日	診療応援(井上先生)
9月30日	診療応援(島津先生)

